

気仙スギ製材品の強度

1 研究のねらい

岩手県沿岸南部の気仙地域において、スギは主要な造林樹種であり、「気仙スギ」としてブランド化が推進されている。今回、丸太から製材された製材品について、建築用材としての利用適性について調査した。

2 試験方法

供試材は、気仙管内 4 市町のスギ 4 林分からそれぞれ立木を 20～25 本選定し、採材長は 4 m で 1～4 番玉まで採材することを基本とした。

所定の寸法に玉切りした丸太を正角材(8～15 cm角)に製材して人工乾燥を行った後、三等分四点荷重により曲げ強度試験を行った。

3 結果

製材品の曲げ強度は、採材部位が高くなるにつれ増加する傾向が認められた。

今回の試験材で、建築基準法施行令に示されているスギの材料強度基準値 225kgf/cm² 以下の製材品は 1 本のみであった。

製材寸法別に曲げ強度を比較すると、12 cm角以上の断面寸法はやや強度性能が低下するが、それでもスギの材料強度基準値を充分満たす値であった。

4 今後の進め方

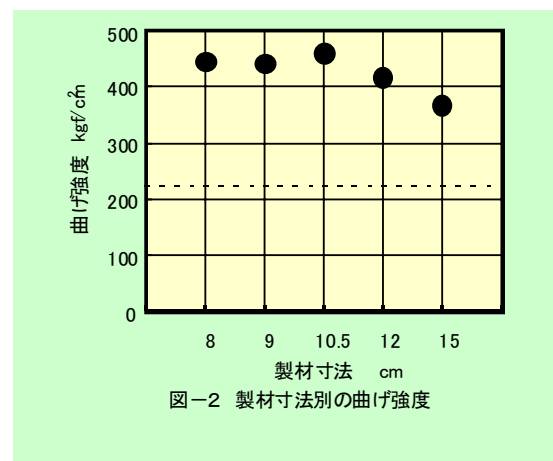
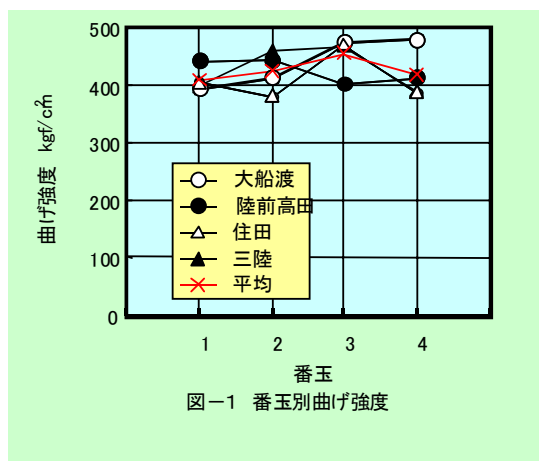
今回は、気仙地域産スギ製材品の強度性能等のデータを集積したが、県内の他の地域産材についても同様の試験を行う必要がある。



製材品の動的ヤング係数の測定



曲げ強度試験



(担当 木材部 上席専門研究員 東野 正)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11
岩手県林業技術センター
ホームページアドレス

TEL 019-697-1536

FAX 019-697-1410

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>